

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	現代の国語	必修 選択	必修	選択	学年	1年
教科書 副教材等	精選現代の国語（東京書籍） 精選現代の国語 学習課題ノート（東京書籍） パスワード級別漢字（浜島書店）					
選択対象者						
科目の 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定3級程度の漢字の読み書き、語彙力を用いて表現することができる。</li> <li>・読み手の理解が得られるような文章の構造を理解し、表現することができる。</li> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味することができる。</li> <li>・近代以降の評論文を読解できる。</li> <li>・読解した内容をもとに、自身の考えをまとめることができる。</li> <li>・他者の考えを踏まえ、自身の考えを広げたり深めたりすることができる。</li> </ul>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代以降の評論文の読解を行う。</li> <li>・学習課題にしたがい自身の意見を構築するために、様々な調査活動を行う。</li> <li>・自身の考えを他者と共有または比較し、まとめる。</li> <li>・作文、感想文、スピーチ等を行い自身の考えを表現する。</li> </ul>					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容については講義形式で進める。</li> <li>・言語活動においては意見文執筆、個別・グループ発表、討論などを行う。</li> <li>・グループ活動や他者と意見を共有する場、自身の意見を発信する場を設ける。</li> <li>・授業終了時、単元終了時に小テストや課題を課す。</li> </ul>					
3 評価の規準	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な語句の意味や漢字の読み書きを理解することができている。</li> <li>・自身の考えを効果的に伝えることができている。</li> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味する方法を理解することができている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張、各評論の主題を理解することができている。</li> <li>・筆者の主張、各評論の主題に対して自身の考えを表現することができている。</li> <li>・自身の考えを他者に伝えることができている。</li> <li>・他者の考えと比較し、自身の考えを広げたり深めたりすることができている。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張、各評論の主題を粘り強く読みとろうとしている。</li> <li>・自身の取組を評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。</li> </ul>					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・小テストや課題に対する取り組み状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul> <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	話すこと・聞くこと：5 他己紹介スピーチをしよう (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身が紹介する人物のことを理解してもらうためにはどのような情報が必要か取捨選択し、的確に相手に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理し、伝え合う内容を検討することができる。</li> </ul>	②③⑤
5	読むこと：8 評論の読み方 届く言葉 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「伝える」ことを目的とした言葉の機能が活かされる条件を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握できている。</li> </ul>	①②④
6	書くこと：8 水の東西 (7)  中高合同講演会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>二項対立とは何か理解し、外国との日本のものの捉え方や感じ方の違いについて理解を深める。</li> <li>自分のウェルビーイング(幸福)の向上とお金の使い方の講演を聞き、自分自身の考えを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二項対立文とは何か理解し、読解した内容を基に、東西の文化の違いをまとめることができている。</li> <li>多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができるか。</li> </ul>	①②⑧
7 8	読むこと：6 真の自立とは (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が述べていることを適切に読み取り、これからの学校生活で何をしていくべきか考え、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を齟齬に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul>	①③⑤⑨
9 10	書くこと：7 新聞記事を基に問いを作り、意見をまとめる (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞の構成を理解し、自身が興味関心のある事柄に関して意見をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。</li> </ul>	②④⑦
11	話すこと・聞くこと：8 コミュニティのこれから まちの豊かさとは何か。(8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が述べる主題を理解し、自身が住んでいるまちをより豊かにする方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。</li> </ul>	①③⑤
12	書くこと：8 論証してレポートを書く (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートの形式を理解し、総合的な探究の時間の成果をレポートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートの形式を理解し、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</li> </ul>	①②⑨

1	書くこと：8 白（8）	・既習事項の評論の読み方を基に、評論文を読み取り、自身の考えを効果的に表現する。	・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。	①②④
2	読むこと：5 今ここにある無数の未知（5）	・文章の構成や展開に注意して、筆者の主張を正確に読み取る。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握できている。	①②⑤
3	話すこと・聞くこと：7 情報を整理しながら話し合う（7）	・これまで学習してきたことをもとに、長万部高校の現状と課題を分析し、改善案を生徒視点でまとめる。	・場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。	③⑤⑨

時数合計（70）

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	言語文化	必修 選択	必修	選択	学年	1年
教科書 副教材等	精選言語文化（東京書籍） 精選言語文化学習課題ノート（東京書籍）					
選択対象者						
科目の 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣い、訓点、教科書内で出てくる助動詞の意味や用法を理解し、文章の中で使うことができる。</li> <li>・教材内容を読解し、自身の考えを表現することができる。</li> <li>・過去と現代との共通点、相違点を見つけ、自身の考えを他者と共有または比較し、広げたり深めたりすることができる。</li> <li>・物語文を読み、登場人物の心情などを豊かに想像することができる。</li> <li>・物語文を読み、内容や構成、表現の仕方などを基に内容を理解することができる。</li> </ul>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<p>(近代以降の文章の領域)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治期以降の小説、短歌、俳句、詩の読解を行う。</li> <li>・読解したことをもとに、自身の考えを構築し他者と共有し、広げたり深めたりする。</li> </ul> <p>(古典の領域)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古文、漢文の文法事項について学習する。</li> <li>・古文、漢文の読解を行う。</li> <li>・読解したことをもとに、自身の考えを構築し他者と共有し、広げたり深めたりする。</li> </ul>					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典、近代以降の文章いずれにおいても講義形式で授業をすすめる。</li> <li>・授業終了時や単元終了時に、本文の解釈や自分の考えを classroom で課題として提出させる。</li> <li>・単元終了時に、音読や漢字、意味などに関する小テストを行う。</li> </ul>					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な品詞や歴史的仮名遣いを理解することができる。</li> <li>・古典を読み解くための文法や助動詞等を理解し、文章の中でも使うことができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の主題や筆者の主張に対して自身の考えを確立することができる。</li> <li>・自身の考えを他者へ表現することができる。</li> <li>・他者の意見を踏まえ、自身の考えを広げたり深めたりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な文法を理解し、粘り強く古文・漢文を読み解こうとしている。</li> <li>・自身の取組を、評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。</li> </ul>					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・言語活動に対する取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・自身の取組に関する自己評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・単元末の小テスト【知識・技能、思考・判断・表現】</li> <li>・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul> <p>これらを総合して、三観点を同等に扱い、評価を行う。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	読むこと（近代以降の文章）：6 文語定型詩から口語自由詩へ 小景異情、I was born、あいだ（6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩についてそれぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。</li> <li>詩歌に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の形式やリズム、表現方法、成立した背景などを踏まえ、作品に込められた作者の思いを理解できている。</li> </ul>	①③⑤
5	読むこと（古典）：7 古文の言葉と仮名遣い（1） 兎のそら寝（6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的仮名遣いについて理解し、古文に親しみ、本文に表れていない登場人物の心情を読み解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的仮名遣いを理解し、読むことができていか。</li> <li>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるか。</li> </ul>	①⑨
6	読むこと（古典）：6 絵仏師良秀（6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞にはどのような働きがあるか理解する。</li> <li>絵仏師良秀の生き方について考え、議論する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文中における助動詞の判別ができているか。また、その助動詞はどのような用法があるか理解しているか。</li> <li>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるか。</li> </ul>	①③⑤
7・8	読むこと（古典）：10 古語を調べるために（1） 伊勢物語（9） 「芥川」 「筒井筒」	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。</li> <li>作品の表現の仕方について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができている。</li> <li>各登場人物の心情を表現や和歌などを通じて捉えることができているか。</li> </ul>	①③⑤
9・10	読むこと（近代以降の文章）：10 羅生門（10）	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物・情景・心情などを、表現から読み取る。</li> <li>各表現に着目し、下人の行方を論理的に探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現や情景描写に着目し、言葉が持つ力を認識し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができている。</li> </ul>	①②⑤
11	読むこと（古典）：8 訓読の基本（4） 故事成語 三編（4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓点のきまりを理解し、文章の内容を的確に読み取る。</li> <li>格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓点の用法を理解し、正しく書き下すことができている。</li> <li>訓点の用法を理解し、正しく読むことができている。</li> <li>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができている。</li> </ul>	①②
12	書くこと：6 寓話（6） 借虎威 塞翁が馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の構成や展開を確かめ、寓話の内容や表現の仕方について理解する。</li> <li>登場人物の言動から、寓話に込められた意図について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の訓点の用法を活用し、書き下すことができている。</li> <li>自分の知識や体験の中から適切な話題を決め、集めた材料の良さや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。</li> </ul>	①②⑤

1	<u>読むこと（古典）：</u> <u>5</u> 徒然草（5） 「ある人弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。</li> <li>・作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に現れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</li> </ul>	①②⑦
2	<u>書くこと：</u> <u>6</u> 漢詩の形式と決まり（1） 絶句と律詩（5）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩のきまりと表現の特色について学び、投資の世界に親しむ。</li> <li>・漢詩を現代語訳し、現代版に漢詩をリメイクする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩の形式、押韻を理解できている。</li> <li>・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。</li> </ul>	①②⑥
3	<u>読むこと（近代以降の文章）：</u> <u>6</u> 鏡（6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説に描かれた登場人物の感じ方や生き方などを、話の展開に注意して読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独特な語り口で書かれている小説を読み取ることができる。</li> <li>・作品や文章に現れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</li> </ul>	①④⑤⑧

時数合計（70）

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	文学国語	必修 選択	必修	選択	学年	2年
教科書 副教材等	文学国語（大修館書店） 文学国語学習ノート（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学的な文章を読み、登場人物の心情を捉えることができる。</li> <li>・ 文学的な文章を読み、人物像・表現技法について考察を深めることができる。</li> <li>・ 文学的な文章を批判的に読み、作品構成を批評することができる。</li> <li>・ 作品の主題及び作品構成に関して自身の考えをもつことができる。</li> </ul>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の心情、作品の主題を読み解く。</li> <li>・ 登場人物の心情や作品の主題、構成に関して理解を深め自分の考えを持つ。</li> <li>・ 自身の考えを様々な方法で表現する。</li> </ul>					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義形式で登場人物の心情や作品の主題、構成を捉える。</li> <li>・ 登場人物の心情や作品の主題、構成に対して、根拠を明らかにして自身の考えをもつ。</li> <li>・ 授業終了時や単元終了時に classroom において、自身の理解や考えを課題として提出する。</li> <li>・ 自身の考えを様々な方法で表現する。</li> <li>・ 単元終了時に、漢字や言葉の意味に関する小テストを行う。</li> </ul>					
3 評価の規準	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句、表現技法、漢字等を理解し、文章の中で使うことができている。</li> <li>・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化についての知識を身につけている。</li> <li>・ 登場人物の心情、心情の変化を根拠と併せて正確に読みとることができている。</li> <li>・ 作品の主題を適切に読みとることができている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の心情、作品の主題に対して自身の考えを持つことができている。</li> <li>・ 自身の考えを効果的に他者に表現することができている。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文中の語句の定義を押さえ、登場人物の心情、筆者の主張を粘り強く読みとろうとしている。</li> <li>・ 自身の取組を、評価・反省し、改善しようとしている。</li> </ul>					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 小テストや課題【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul> <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	書くこと (7) 十八歳の選択 体験に基づいて書く。 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像したり共感したりしながら、筆者の思いを読みとる。</li> <li>筆者の文章技術をもとに、自身の体験を随想で表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が文章を通じて伝えたいことを明確にした上で、情感の豊かさや心情の機微を表す語句を用いて表現しようとしている。</li> <li>筆者の二つの「選択」とは何かを理解している。</li> </ul>	①④⑨
5	読むこと (9) 山月記 (9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情景描写や時間の推移を基に登場人物の心情を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。</li> <li>主人公が虎になってしまった理由を説明できている。</li> </ul>	③⑤⑦
6	読むこと (7) 山椒魚 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本作品に込められた寓意を理解する。</li> <li>本文における表現技法を理解し、その効果を考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</li> <li>「山椒魚」に込められた寓意を理解し、表現できている。</li> </ul>	①⑤⑦
7 ・ 8	書くこと (7) 竹・永訣の朝 ・心情を描写する (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩のリズムや響きを味わう。</li> <li>表現の特色や効果について理解する。</li> <li>心情を伝えるための言葉を選び、表現を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。</li> <li>作者の心情の動きを理解し、最終的に至った境地を説明できている。</li> <li>心情を生き生きと描写し、読み手の共感をえるためにふさわしい言葉や表現について吟味し、理解を深めようとしている。</li> </ul>	①②⑤
9	書くこと (6) ・鹿を追いかけて ・情景を描写する (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然と人間の関係がどのように表されているかをとらえる。</li> <li>筆者の心情と情景の描写に着目し、それを利用して文章を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、作品の解釈を深めている。</li> <li>文学的な文章を書くために、心情と情景を表現するための技法を理解し活用できている。</li> </ul>	①
10 ・ 11	読むこと (12) ころ (12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の心情を理解する。</li> <li>本作品はなぜ「ころ」という題名なのかを探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉えている。</li> <li>「私」(先生)の、各場面における心情の動きについて理解できているか。</li> <li>「ころ」という題名に対する自分なりの解釈を説明できている。</li> </ul>	①⑦⑨

11 ・ 12	読むこと (9) 美神 (9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞台設定や時代背景を踏まえて本作品の主題を理解する。</li> <li>・ 日本を代表する作家の、美に対する価値観を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</li> <li>・ 筆者が持つ、美に対する価値観を理解している。</li> </ul>	①⑤
1 ・ 2	読むこと (6) 私の日本居住論 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い視点で我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。</li> <li>・ 日本文化の中で翻訳しにくいものを理解できている。</li> </ul>	①⑤
2 ・ 3	読むこと (7) 桜の中で、時が重なり合う (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な具体例をもとに筆者が論じている桜の魅力を探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</li> <li>・ 筆者が考える桜の魅力を理解できている。</li> </ul>	①⑤⑨

時数合計 (70)

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	論理国語	必修 選択	必修	選択	学年	2年
教科書 副教材等	論理国語（大修館書店）論理国語学習ノート（大修館書店）パスワード級別漢字（浜島書店）					
選択対象者						
科目の 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章を読み、筆者の考えや文の要旨・展開を正確に捉えることができる。</li> <li>・情報を重要度や抽象度などによって整理することができる。</li> <li>・批判的な思考を持ち、主題に対して自身の考えを論理的に表現することができる。</li> </ul>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各評論文の主題、主張、根拠を読解する。</li> <li>・各評論文が提示する主題に関して、自身の考えを表現する。</li> <li>・社会との繋がりを意識した場を用いて、教員もしくは他者とどのような力が必要か熟考する。</li> </ul>					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式で評論文を読み解く。</li> <li>・筆者の主張、評論の主題に対して、自身の考えを明確にする。</li> <li>・授業終了後または単元終了後、classroomで課題に対する自身の考えをまとめる。</li> <li>・単元終了後に、小テストを行う。</li> </ul>					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現と理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解している。</li> <li>・評論文の主題、主題に対する筆者の主張を正確に読みとることができる。</li> <li>・自身の考えを効果的に他者に伝えるための論理構成を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論文の主題、筆者の主張を理解できている。</li> <li>・評論文の主題、筆者の主張に対して自身の考えをもつことができている。</li> <li>・自身の考えを効果的に他者に伝えることができている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して粘り強く他者や社会に関わろうとしている。</li> <li>・本文中の語句の意味を押さえ、粘り強く筆者の主張を読みとろうとしている。</li> <li>・自身の取組を、評価・反省し、改善しようとしている。</li> </ul>					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・授業終了時、単元終了時の小テストや課題【知識・技能、思考・判断・表現】</li> <li>・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul> <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	書くこと (7) 評論文の読み方 (1) 世界を広げる「批評」の言葉 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が定義することを的確に押さえ、主張を理解する。</li> <li>・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。</li> <li>・様々な観点から情報を収集、整理これからの時代における「書く」「読む」力について自分の考えを表現できているか。</li> </ul>	①②⑦
5	読むこと (6) 対話の精神 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化の特徴を踏まえ、「対話」についての理解を深める。</li> <li>・「対話」を通して、自身の考えを広げ深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。</li> <li>・実際に「対話」を用いて自身の考えを広げることができているか。</li> </ul>	①②⑤
6	読むこと (5) ミロのヴィーナス (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しさについての筆者の主張を理解し、筆者の主張を理解し、自分の考えを深める。</li> <li>・筆者の主張をふまえて、美しさについて理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的、多角的にア視点から評価している。</li> <li>・美しさに関する自分の基準を明確にし、その基準に基づいて美しいものを文章化できているか。</li> </ul>	①③
7	読むこと (6) 人工知能の可能性と畏 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例をふまえて、筆者の主張をとらえる。</li> <li>・人工知能の歴史と現状、その特徴についての的確に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の具体例、論拠を押さえた上で、結論について理解している。</li> <li>・人工知能の歴史と現状、その特徴について理解し、文章化することができているか。</li> </ul>	①④
8	書くこと (6) 余白の美学 具体的／抽象的に書く (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例の果たす役割を理解し、その意図を適切に読み取る。</li> <li>・日本特有の文化に関して自身の考えを論理的に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「具体的／抽象的に書く」の内容を踏まえ、自分の主張を伝える文章を書くことができているか。</li> </ul>	①⑦
9	読むこと (5) 敬語への自覚、他者への自覚 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。</li> <li>・敬語や若者言葉など、言葉と社会の関心に興味を持ち、考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>・言葉と社会の関係について興味を持ち、それらがどのような関係にあるかを理解し、文章化ができているか。</li> </ul>	①⑤⑦

10	読むこと (6) 家族化するペット (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計資料と事例に基づいて、筆者が主張していることを理解する。</li> <li>社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。</li> <li>社会構造の変化が、人間の思考や感情にどのような影響を与えているかを理解できている。</li> </ul>	①②
11	書くこと (7) 方言コスプレ現象 情報を集めて分類する。 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>方言と社会の変容の関係の理解に関する筆者の見解を理解する。</li> <li>筆者の、方言に対する視点や分析のしかたを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>情報の収集、分類を進め、自分の主張が的確に伝わる文章を作成できている。</li> </ul>	①②⑦
12	読むこと (8) 絵を見る技術 図版を分析して書く (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エピソードや具体例の役割に注目し、本文と図版を関係づけながら読みとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</li> <li>エピソードや具体例をどのように用いて、筆者が自分の主張をどのように展開しているかを理解できている。</li> </ul>	①②
1	読むこと (6) 分かち合う社会 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食習慣を切り口にして人類社会の成り立ちについて考える。</li> <li>学説を引きながら論述する文章を読み、主張をとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</li> <li>「分け与える」と「分かち合い」の違いについて理解できている。</li> </ul>	①②
2 3	書くこと (8) 心に「海」を持って (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文明と海や人との関係を知り、普遍的な文明に土江理解を深める。</li> <li>文章全体の構成を意識して、筆者の主張を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論証したり学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文章全体の構成を意識しつつ、自分の主張を述べることができている。</li> </ul>	①⑤⑦

時数合計 (70)

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	文学国語	必修 選択	必修	選択	学 年	3
教科書 副教材等	文学国語（大修館書店） 文学国語学習ノート（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学的な文章を読み、登場人物の心情などを豊かに想像することができる。</li> <li>・ 文学的な文章を読み、人物像・表現技法について多角的に考察を深めることができる。</li> <li>・ 文学的な文章を批判的に読み、作品構成を多角的に批評することができる。</li> <li>・ 作品の主題及び作品構成に関して、自身の考えを深化させることができる。</li> </ul>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の心情、作品の主題を読み解く。</li> <li>・ 登場人物の心情や作品の主題、構成に対して、理解を深め自分の考えを持つ。</li> <li>・ 自身の考えを様々な方法で表現する。</li> </ul>					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義形式で登場人物の心情や作品の主題、構成を捉える。</li> <li>・ 登場人物の心情や作品の主題、構成に対して、根拠を明らかにして自身の考えをもつ。</li> <li>・ 授業終了時や単元終了時に classroom において、自身の理解や考えを課題として提出する。</li> <li>・ 自身の考えを様々な方法で表現する。</li> <li>・ 単元終了時に、漢字や言葉の意味に関する小テストを行う。</li> </ul>					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句、表現技法、漢字等を理解し、文章の中で使うことができている。</li> <li>・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化についての知識を身につけている。</li> <li>・ 登場人物の心情、心情の変化を根拠と併せて正確に読みとることができている。</li> <li>・ 作品の主題を適切に読みとることができている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の心情、作品の主題に対して自身の考えを持つことができている。</li> <li>・ 自身の考えを効果的に他者に表現することができている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代背景なども踏まえ、粘り強く登場人物の心情、筆者の主張を読みとろうとしている。</li> <li>・ 自身の取組を、評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。</li> </ul>					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ 小テストや課題【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul> <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	読むこと：7 鍋セット (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の流れと陣部のけんかとの関係を的確にとらえる。</li> <li>本タイトルに込めた筆者の思いをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉えている。</li> <li>「私」の鍋セットに対する思いを説明できている。</li> </ul>	①②
5	書くこと：8 桔梗くんへ (4) 手紙を書く (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙という表現形式の特徴と文体の表現効果について理解を深める。</li> <li>作品をとおして、日常的なできごとや体験の意味を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書簡体の特徴を活用し、自分の思いが読み手に伝わるように構成や展開、表現などを吟味しながら丁寧に文章が書けている。</li> <li>私が「桔梗くん」への手紙を書いた理由を理解できている。</li> <li>現在の自分の気持ちを未来への自分宛の手紙の中で表現できている。</li> </ul>	①②⑤
5 ・ 6	読むこと：6 捷の門 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の不可解さや生の不条理さについて考える。</li> <li>寓話に込められたおもしろさを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</li> <li>「男」の性格を説明できている。</li> <li>それぞれの場面における語り手の視点の動きをつかめている。</li> </ul>	①⑤
6	書くこと：8 陰影礼賛・闇と光 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。</li> <li>日本の伝統的な価値観やその変化について述べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしている。</li> <li>筆者が考える日本文化の特徴を説明できる。</li> <li>日本の伝統的な価値観について調べ、それを表現できている。</li> </ul>	①⑤⑦
6 ・ 7	読むこと：9 檸檬 (9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の感覚から事物の多様なとらえ方を知る。</li> <li>作品の結末について、作者の思いを探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。</li> <li>檸檬に対する作者の思いを理解できている。</li> </ul>	①⑤
8	読むこと：6 待つ (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の視点をとおして、作品の世界を批判的にとらえ、想像を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。</li> <li>当時の状況を踏まえて、作者の主張を理解できている。</li> </ul>	①⑥
9 ・ 10	読むこと：10 舞姫 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。</li> <li>登場人物の境遇と心情を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとしている。</li> <li>明治という時代背景、官僚としての考え方を調べてまとめることができている。</li> </ul>	①⑤⑥

11	読むこと(7) 遊びの伝統(7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人にとっての「遊び」の存在意義を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている</li> <li>日本文化における「遊び」に対する筆者の考えを説明できている。</li> </ul>	①⑤
12 ・ 1	読むこと:9 伊豆の踊り子(9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代を超えて共感できる作品に表れた主題の重層性を学ぶ。</li> <li>芸術作品を鑑賞する基礎力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</li> <li>高校生と踊り子の淡い恋物語とは別の主題に気づけている。</li> </ul>	① ⑦

時数合計 (70)

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	論理国語	必修 選択	必修	選択	学年	3年
教科書 副教材等	論理国語（大修館書店） 論理国語学習ノート（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章を読み、筆者の考えや文の要旨・展開・読み手の理解を促す技法を正確に捉えることができる。</li> <li>・情報を重要度や抽象度などによって整理し、文章の中で使うことができる。</li> <li>・批判的な思考を持ち、主題や筆者の主張に対して自身の考えを論理的且つ効果的に表現することができる。</li> </ul>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各評論文の主題、主張、根拠を読解する。</li> <li>・各評論文が提示する主題に関して、自身の考えを表現する。</li> <li>・社会との繋がりを意識した場を用いて、教員もしくは他者とどのような力が必要か熟考する。</li> <li>・昨今起きている社会問題を分析し、自身の考えをまとめる。</li> </ul>					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式で評論文を読み解く。</li> <li>・筆者の主張、評論の主題に対して、自身の考えを明確にする。</li> <li>・授業終了後または単元終了後、classroomで課題に対する自身の考えをまとめる。</li> <li>・単元終了後に小テストを行う。</li> </ul>					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現と理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解している。</li> <li>・評論文の主題に対する筆者の主張を正確に読みとることができる。</li> <li>・自身の考えを他者に効果的且つ論理的に伝えるための論理構成を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論文の主題、筆者の主張を理解できている。</li> <li>・評論文の主題、筆者の主張に対して自身の考えを持つことができている。</li> <li>・自身の考えを効果的に他者に伝えることができている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して粘り強く他者や社会に関わろうとしている。</li> <li>・時代背景などを踏まえ、粘り強く筆者の主張を読みとろうとしている。</li> <li>・自身の取組を振り返り、評価・反省し、改善しようとしている。</li> </ul>					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・授業終了時、単元終了時の小テストや課題【知識・技能、思考・判断・表現】</li> <li>・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul> <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	読むこと：7 「贈り物」として のノブレス・オブ リージュ（7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「贈り物」についての筆者の主張を踏まえて、自己と他者について考える。</li> <li>・筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握できている。</li> <li>・「贈り物」に対する筆者の主張を理解できているか。</li> </ul>	①②
5	書くこと：7 ネットワーク上の コミュニケーション（4） 対比して論じる。 （3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対比的な論じ方や具体例の意図を捉える。</li> <li>・対面とネットワーク上でのコミュニケーションの差異について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えようとしている。</li> <li>・対面とネットワーク上のコミュニケーションの違いについて理解できている。</li> <li>・対比を利用して自分の主張を述べている。</li> </ul>	① ⑨
6	書くこと：2 性教育講演会 （1）  中高合同講演会 （1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「性」に関する講演を聞き、自身の考えを表現する。</li> <li>・自分のウェルビーイング（幸福）の向上とお金の使い方の講演を聞き、自分自身の考えを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にできているか。</li> </ul>	⑥⑦
6	読むこと：7 ポスト真実時代の ジャーナリズムの 役割 （7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの現状と課題、マスメディアの役割について考える。</li> <li>・筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>・筆者の現状認識と問題意識を理解できている。</li> </ul>	①②
7 ・ 8	読むこと：9 消費されるスポ ーツ（6） 仮説を立てて検証 する（3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツとメディアの関係についての考えを深める。</li> <li>・具体例と筆者の主張との関係を的確に捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めているか。</li> <li>・スポーツとメディアの関係についての考えを深めている。</li> </ul>	①②
9	読むこと：10 人を指す言葉 （6） 情報を集めて分類 する（4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。</li> <li>・根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈できている。</li> <li>・筆者の考える日本語の特徴について理解できている。</li> </ul>	①⑦

9	書くこと：1 心の健康学習 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の健康に関して理解を深め、自身の考えを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができているか。</li> </ul>	⑥⑦
10	読むこと：7 多数決を疑う (5) テーマの具体化・ 焦点化(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。</li> <li>意志決定のしくみに興味を持ち、社会制度のあり方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらい旨を把握できている。</li> <li>意志決定のしくみの種類について理解し、効果的な意志決定しくみについて根拠を基に説明できている。</li> </ul>	①②⑤
11	読むこと：10 であることとする こと(10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張をつかむ。</li> <li>「自由」という視点から日本の近代について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>「である」ことと「する」ことが示す内容について理解し、分類できている。</li> </ul>	①②⑨
12	書くこと：5 リスク社会としての 現代(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の社会が直面するさまざまな課題を意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨く語彙を豊かにできている。</li> <li>現代社会が直面している課題を挙げ、それらの自分なりの解決法を述べるができている。</li> </ul>	①②⑨
1	書くこと：5 無常ということ (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の思索の流れや論の展開のしかたをとらえる。</li> <li>「美」「歴史」「解釈」などについて自分の考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に沿って、筆者の施策の流れに注目しつつ、積極的に自分の考えを深めようとしている。</li> <li>筆者の「無常」に対する考えを理解できている。</li> </ul>	① ⑤⑨

時数合計(70)